

事務事業名		農地効率利用奨励補助事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課
	政策	03	農林業の振興	係	農政係
	施策	03	遊休荒廃農地対策	内線電話	250
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	未計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	3目	農業振興費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	利用権設定を通じて農地を借りる者	意図（どのような状態にしたいのか）	担い手等への農地流動化及び農地集積を図る。
	現状・課題	農業従事者の高齢化、担い手不足等により、農地の遊休化が懸念される。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市農地効率利用奨励補助金交付要綱		
事務事業概要	農地貸借に関する相談及びあつ旋を通じ、農地の流動化及び集積化を図る。利用権設定を通じ、経営規模の拡大等を図る者に対して、補助金の交付を行う。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	農用地利用集積調整会議の開催		12回	
	農地効率利用奨励補助金の交付		延べ50者	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	2,040,000	2,040,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	2,040,000	2,040,000	1,700,000	
決算（見込）額 A			円	1,674,375	2,040,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
一般財源		円	1,674,375	2,040,000	1,700,000	
正規職員数		人	0.30	0.30	0.30	
人件費 B		円	1,930,200	1,932,600	1,932,600	
総事業費 A+B		円	3,604,575	3,972,600	3,632,600	
市民1人当たりコスト		円	84	93	86	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
利用件設定農地面積		維持	目標	52	ha	52	ha	52	ha
			成果	87	ha	52	ha	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	農地流動化及び集約化を進めるため、利用権設定面積を成果指標とし、担い手、新規就農者の人数等を踏まえ、当該目標値を設定する。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	平成25年度に創設した関係機関による農地貸借情報交換体制の強化、農地中間管理事業の積極的な活用を行い、一層の農地流動化、集積化を図る。						

